

領 収 証

平成 28 年 10 月 28 日

たてぬま - 弘 様

金額	¥	2	7	0	0	0	0	0
----	---	---	---	---	---	---	---	---

但し 議会活動報告書印刷代として

上記の金額正に領収致しました

現金	
小切手	
手形	
相殺	

企画/デザイン/印刷

有限会社 **新星社印刷**

〒327-0501 栃木県佐野市葛生
TEL/0283-85-2708 F



領 収 証

平成 29 年 1 月 10 日

たてぬま - 弘 様

金額	¥	2	7	0	0	0	0	0
----	---	---	---	---	---	---	---	---

但し 議会活動報告書印刷代として

上記の金額正に領収致しました

現金	
小切手	
手形	
相殺	

企画/デザイン/印刷

有限会社 **新星社印刷**

〒327-0501 栃木県佐野市葛生
TEL/0283-85-2708 F



領 収 証

No. D005257

たてぬま 一弘 殿

H 28 年 11 月 2 日

金額

¥ 52,569-

但し 折込料金(消費税込)明細書として
上記金額正に領収いたしました。

取扱者



株式会社 栃木読売IS

栃木県宇都宮市東宿郷3丁目1番7号

TEL 028-612-2015(代)

●通番号、取扱者印のないものは無効です。



領 収 証

No. D005286

たてぬま 一弘 殿

H29年 1 月 13 日

金額

¥ 52,212-

但し 折込料金(消費税込)明細書として
上記金額正に領収いたしました。

取扱者



株式会社 栃木読売IS

栃木県宇都宮市東宿郷3丁目1番7号

TEL 028-612-2015(代)

●通番号、取扱者印のないものは無効です。



市議選「アースト」 市政にしるかり提言！

十二月議会で2つのテーマについて一般質問しました。

佐野市の未来を担う子どもたちに関する問題として

佐野市内の小中学校統廃合案について5項目

「義務教育学校」という考え方

(詳細裏面)

特に葛生・田沼地区の市民の生命を守るための

佐野市民病院の民設民営化について4項目

(詳細裏面)

政治に全て解つたはありません。時代は常に動いています。

東京都知事

更に勉強、小池百合子 政治塾「希望の塾」に参加しています。

(詳細裏面)

株主は市民です！

私の仕事は
佐野市民の

を正しく
使うための

蓼沼は昨年度から市民ファーストを
スローガンに掲げて活動しています。

明治以来百五十年、戦後七十一年、

日本国を成長させてきたのは、私達の

祖父母、父母です。

高齢者が安心した生活

ができるように取組みます。

！近い将来、東京を中心とする

直下型地震が発生すると

いわれています。他人事でなく、

専門家の知識を取り入れ

佐野市も備えることが重要！



佐野市議会議員
蓼沼一弘
たてぬま かずひろ

をすることです！

平成32年度田沼西地区、平成34年度葛生地区の小中学校が各1つに統廃合されます。

12月議会での 蓼沼一弘の 一般質問要旨

- 1.田沼西地区及び葛生地区の施設一体型小中一貫校の開校に向けて、地域住民や保護者とどのように合意形成を行ったのか。
- 2.併設型小学校・中学校ではなく、なぜ義務教育学校とするのか。
- 3.施設一体型の小中一貫校のメリットやデメリットはどういったものがあるのか。
- 4.学校統合時の校名や校歌、制服などを新たに決める際、どのように検討しているのか。
- 5.学校統合における通学についての心配はどうか解決していくのか。

【答弁要旨】

- ・葛生地区は平成24年度、田沼地区は26年度から該当地区の町会・PTA等と何度も懇談会を行い、合意をいただいた。
- ・統合時の検討事項(校名・校歌・制服・スクールバス等)は、すべて地域住民・PTA・学校長と協議して決定していく。
- ・義務教育学校とすることにより一貫性のある総合的、効果的な教育が更に進められ、国や県による支援が行いやすくなる。

【蓼沼の解説】 なぜ統合？ → 危機的な超少子化は目前です！

平成28年度の葛生地区(旧葛生町)小学校
4校(葛生・南・常盤・氷室)の**新入生の合計数**

約40名強 ▶ さらに数年後、激減すると考えます。

※平成27年4月現在、戸奈良小・下彦間小・氷室小では複式学級編成が実施されています。またこの地区の他の小学校もすべて1学級編成です。

子どもたちの健全な育成には一定の集団による**学びが必要**です。そのため地域を基盤とする**統廃合が必要**と考えます。

佐野市は統廃合に際して更に先進的な

「義務教育学校」のシステムを導入 → 「義務教育学校」とは？「併設型小・中学校」との違い。

平成27年に学校教育法の改正により「義務教育学校」の設置が認められました。その内容は従来の併設型小・中学校とは異り9年制となります。小学校から教科担任制となり、学級担任が全教科を教えるのではなく、各専門教科担当の先生が授業を行います。佐野市がこの様な教育効果の期待できるシステムを導入することで、**児童・生徒の人間力の向上と自尊心を高める教育、また学力の向上も期待できます。**

現在全国に小中学校は33624校ありますが、その内小中一貫校は約1000校、さらに「義務教育学校」は22校あります。

併設型の小中一貫校には小・中学校にそれぞれ校長1名と教頭が1名配置されますが、「義務教育学校」には校長が1名、教頭が2名配置されます。

統廃合により、小中一貫校をより高度化した「義務教育学校」となります。(佐野市教育委員会による適正配置計画)

田沼西地区

田沼西中
戸奈良小・三好小・山形小
関馬小・下彦間小・飛駒小
田沼小の一部(西中通学区)

(平成32年度開校)

施設一体型小中一貫校

拠点校: 田沼西中学校

葛生地区

葛生中・常盤中
葛生小・葛生南小
常盤小・氷室小

(平成34年度開校)

施設一体型小中一貫校

拠点校: 葛生中学校

田沼地区・葛生地区における地域医療の確保を考えると、市民病院の今後のあり方は大きな問題です。

12月議会での 蓼沼一弘の 一般質問要旨

- 1.市は、市民病院を民間譲渡する方針を打ち出したが、市民病院の今後のあり方の当局の考えについて。
- 2.政策審議会に対しての答申依頼内容と、答申はどのような内容であったのか。
- 3.政策審議会を受け、市は今後どのように対応をするのか。
- 4.民間譲渡先の選定については、どのような方法で行うのか。

※1年間の利用者約15万人のうち田沼地区約50%
葛生地区約20%佐野地区(堀米・石塚・赤見)約20%
その他10%(田沼・葛生地区だけの問題ではありません)

【答弁要旨】

市は医療という高度な専門知識及び経営手腕を必要とする病院経営について、「公の施設」として主体的に行うことには限界があり、佐野市全体の行財政規模の縮小、人口減少や高齢化等の観点などから、今後の市民病院のあり方を検討してきた。その結果、佐野市の地域医療を担い、市民の安心安全を確保する拠点病院として、市民の生命と健康を守り、地域の健全な発展に貢献していくという観点からもその存在は不可欠であるという政策審議会の答申に基づき、平成30年4月に指定管理期間が満了後は佐野市民病院を民間に譲渡し、今以上の医療サービスの向上を目指す。そのため、市民の不安を払拭するためにも市民病院が民間手法により今後も引き続き存続することを各地区等において説明していく。

【お知らせ】 佐野市民病院の民設民営化についての説明会の日程(佐野市ホームページより)

【日時・会場】 1月10日:佐野市中央公民館 1月13日:葛生あくとプラザ 1月16日:田沼中央公民館 1月23日:赤見地区公民館(午後7時開会約1時間程度)

佐野市の未来を考えて、小池百合子東京都知事の「希望の塾」に参加しています。

平成28年12月10日開催

「希望の塾」講師と演題

講話時間は各1時間半くらいでした。

- ・小池百合子 東京都知事
- ・川村たかし 名古屋市長
- ・上田 清司 埼玉県知事
- ・竹中 平蔵 慶應義塾大学名誉教授

「東京を守る。東京を進める。」
「庶民革命」
「やったふり行政から成果を出す行政。」
「国家戦略特区を考える。」
※次回は1月14日です。

登山家 小西浩文 氏 ※世界の8000m峰を無酸素で6回登頂した。現在世界トップクラスのアルピニスト。百回多数。
蓼沼さんの抜群の実行力、強烈なリーダーシップ、ほとばしる情熱、人を惹きつける魅力。まさに最高の政治家です。

宇都宮市議会 建設常任委員長 山崎まさ子 議員
蓼沼君とは青年団から35年。彼の言葉、行動力、エネルギーは卓越したものがああり、日本・世界を駆け回る姿は今も健在です。

前(後)法人防災科学研究所 研究員 織原義明 博士 ※講演会開催予定
蓼沼さんには力があります。自然災害から佐野市民の生命を守る！これからは蓼沼さんの議会活動をサポートします。

私達も地域づくりの仲間です。



前足利市議会議員 飯島一弘氏



足利市議会議員 斎藤まさゆき氏



栃木市議会議員 岡 寛治氏



小山市議会議員 榎村はじめ氏



足利市議会議員 末吉としひろ氏



山中伸弥教授とノーベル賞受賞報告会にて



元総理大臣・現副総理大臣 麻生太郎氏の勉強会にて

ご意見等ございましたら、ご連絡下さい。 **すぐに行動します！**

蓼沼一弘議会活動報告 No.24 平成28年12月発行

栃木県佐野市仙波町137-10 電話 0283-85-3727 携帯 090-3540-8528

この議会活動報告書は公職選挙法に基づき作成されています。

株主は市民です！

私の仕事は
佐野市民の

を正しく
使うための

をすることです！

平成27年度
一般会計

歳入五四七億円・歳出五二〇億円が今年九月議会で承認されました。

主な事業は新庁舎建設・消防本部庁舎建設・消防救急デジタル無線化等です。

私は九月議会で命をテーマに3項目の一般質問をしました。
(詳細裏面)

また、文化芸術をテーマに一時間7項目の質疑をしました。
(詳細裏面)

議員定数2名削減と議員報酬増額 要望案が

8月4日の議員懇談会で電子票決されました。

私は、定数削減には賛成 報酬増額には反対です。

その時、報酬増額に反対したのは、私を含め4名の議員だけです。

この意志は、今後とも覆すことはありません。
(詳細裏面)



佐野市議会議員
蓼沼一弘
たでぬま かずひろ

明治以来百五十年、戦後七十一年、
日本国を成長させてきたのは、私達の
祖父母、父母です。
高齢者が安心した生活
ができるように取組みます。

近い将来、東京を中心とする
直下型地震が発生すると
いわれています。他人事でなく、
専門家の知識を取り入れ
佐野市も備えることが重要！

フ
ア
ー
ス
ト

平成28年8月4日議員懇談会において、議員定数削減と報酬増額が議場で電子票決された、その意味は。

富山市議会の問題が大きく取り上げられたのは9月頃、小池都知事の報酬半減が可決したのは10月11日。

議員懇談会では、「佐野市議会議員の定数等のあり方について」答申がされました。市議会議員定数検討委員会からの答申は、

1. 議員定数は、平成29年4月に予定される一般選挙から2人減の24人が妥当。
2. 議員報酬は、男女ともに子育て世代の方が議員に立候補し、議員活動に専念して生活を営むことができる額とする(～云々～)2人削減することを勘定し、平成28年度予算(議員報酬及び議員期末手当: 13,916,700円/1人6,958,350円)の範囲内での増額を市長に要望する。

というものです。そしてこの答申は議会での議決ではありませんが、議場で行われた議員懇談会で電子票決により、決定されました。

私は定数削減には賛成し、報酬の増額には反対しました。

この答申は要望書として市長に提出されました。12月議会以降に議案として提出される予定です。

現在の厳しい社会情勢、佐野市の財政状況、そして何よりも市民感情等を考えたとき、議案は提出されるでしょうか。私はできないと考えます。

本来この予算は「子育てや老人福祉などの市民サービスに充てられるべきだ」という内容の反対意見を述べました。

H28.9月議会一般質問 骨髓バンクドナー支援について

蓼沼一弘の提案により骨髓の提供者と勤務先に支援が行われます。

血液の病気等により**骨髓移植を必要**とする患者の命を救うという

崇高な考え・決断の基に、骨髓バンクに登録している**骨髓提供者**が本市にもたくさんいます。

しかし、適合した提供者には、肉体的負担の他に勤務先や自身への経済的負担が伴うことが想定されます。

具体的には、骨髓提供のため**仕事を休み何日か入院が必要**となり、勤務先の事業者にも負担がかかります。(約1週間程度)

そのために提供できない登録者が増えてしまうことはとても残念なことです。提供登録者が提供しやすい環境を作るために、適合者が出た場合には市として

提供者本人とその勤務先にも**経済的支援**を行って欲しい。

骨髓提供者と勤務する事業所には経済的支援を行なってまいります。

との回答により、平成29年度から予算化され、支援が行なわれます。

H28.9月議会一般質問 子どもの貧困問題について、フードバンクについて

子どもの貧困対策とフードバンクの必要性は命に関わる問題です。

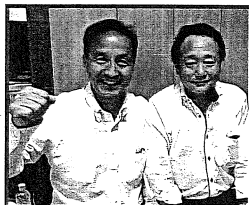
国の発表では、現在貧困世帯の18才未満の子どもは15.7%といわれており、6人に1人が貧困とされる水準で生活しているとされています。

この厳しい社会情勢、経済状況の中、家庭の貧困が子どもの将来を左右してはならないと考え、佐野市の子どもの貧困問題の把握とこれまでの対応、今後の対策についてどう対処するか。また、貧困家庭など生活困窮世帯等に市場で流通(販売)できない(安全な)食品等を提供するフードバンク活動について、佐野市として協力・支援できないか。生活困窮者の孤立を防ぐためにも**生活弱者である市民を救う市政**を行って欲しい。

貧困の表面化は非常に難しいことだが、佐野市の貧困対策サービスの概要冊子を作成し、対策を行っていく。また、フードバンク事業者や社会福祉法人と連携し、協力支援を行っていく。

H28.9月議会 平成27年度決算質疑 主に文化芸術のテーマで質問をしました。

- ①佐野市・芦屋文化交流事業の具体内容と成果、今後のあり方について。
- ②佐野市文化会館の改修計画とあり方について。
- ③外国人相談事業内容と対応について。
- ④子どもの貧困対策法と生活困窮者自立支援法について。
- ⑤有害鳥獣被害対策費(ヤマビル)について。
- ⑥インランドポート整備事業の戦略の方針について。
- ⑦訪日ムスリムインバウンド推進事業費の今後の計画について。



登山家 小西浩文氏 ※講演会開催予定

蓼沼さんの抜群の実行力、強烈なリーダーシップ、ほとぼしる情熱、人を惹きつける魅力。まさに最高の政治家です。

※世界の8000m峰を無酸素で6座登頂した、現在世界トップクラスのアルピニスト。著書多数。



山中伸弥教授とノーベル賞受賞報告会にて



元総理大臣・現副総理大臣 麻生太郎氏の勉強会にて



宇都宮市議会 建設常任委員長 山崎まさ子 議員

蓼沼君とは青年団から35年。彼の言葉、行動力、エネルギーは卓越したものがああり、日本・世界を駆け回る姿は今も健在です。

私達も地域づくりの仲間です。



前足利市議会議員 飯島一弘氏



足利市議会議員 斎藤まさゆき氏



栃木市議会議員 岡 賢治氏



小山市議会議員 植村はじめ氏



足利市議会議員 末吉としひろ氏



前(株)立法人防災科学研究所 研究員 織原義明 博士 ※講演会開催予定

蓼沼さんには力があります。自然災害から佐野市民の生命を守る！これからも蓼沼さんの議会活動をサポートします。

ご意見等ございましたら、ご連絡下さい。すぐに行動します！

蓼沼一弘議会活動報告 No.23 平成28年10月発行

栃木県佐野市仙波町137-10 電話 0283-85-3727 携帯 090-3540-8528

この議会活動報告書は公職選挙法に基づき作成されています。